

(2) ②小学校社会・中学校社会

育成をめざす資質・能力 ～何ができるようになるか～

社会科では、社会との関わりを意識して課題を追究・解決する活動を充実させ、社会の在り方や人間としての生き方について選択・判断する力、現代的な諸課題を歴史的に考察する力、地球規模の諸課題や地域課題を解決しようとする態度など、国家及び社会の形成者として必要な資質・能力を育むことが求められています。

【小学校社会 中学校社会 の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、(中：広い視野に立ち、) グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校 ↓ 中学校	<p>地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p>	<p>社会的事象について、よりよい社会を考えた主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。</p>
	<p>我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>	<p>社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

★目標の改善

社会科がめざす究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言になっています。

具体的な教育内容の改善・充実 ～何を学ぶか～

★内容の改善・充実

これまで、小学校では、社会的事象を総合的に捉える内容として構成されていたため、指導内容が社会科全体においてどのような位置付けにあるか、中学校社会科とどのようにつながるかといったことを意識しづらいという点が課題として指摘されています。このことを踏まえ、小・中学校社会科の内容を①地理的環境と人々の生活、②歴史と人々の生活、③現代社会の仕組みや働きと人々の生活という三つの枠組みに位置付けています。

枠組 対象	地理的環境と人々の生活			現代社会の仕組みや働きと人々の生活			歴史と人々の生活		
	地域	日本	世界	経済・産業	政治	国際関係	地域	日本	世界
小学校 5年		(1)我が国の国土の様子と国民生活 ｲ(ｱ)「生産物の種類や分布」 ｲ(ｱ)「工業の盛んな地域の分布」 (5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連	ｲ(ｱ)「世界の大陸と主な海洋、世界の主な国々」	ｱ(ｲ)「自然環境に適応して生活していること」 (2)我が国の農業や水産業における食料生産 (3)我が国の工業生産 (4)我が国の情報と産業との関わり (5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連		ｲ(ｱ)「輸入など外国との関わり」 ｲ(ｲ)「貿易や運輸」		ｲ(ｱ)「生産量の変化」 ｲ(ｱ)「技術の向上」 ｲ(ｱ)「工業製品の改良」 ｲ(ｱ)「情報を生かして発展する産業」	

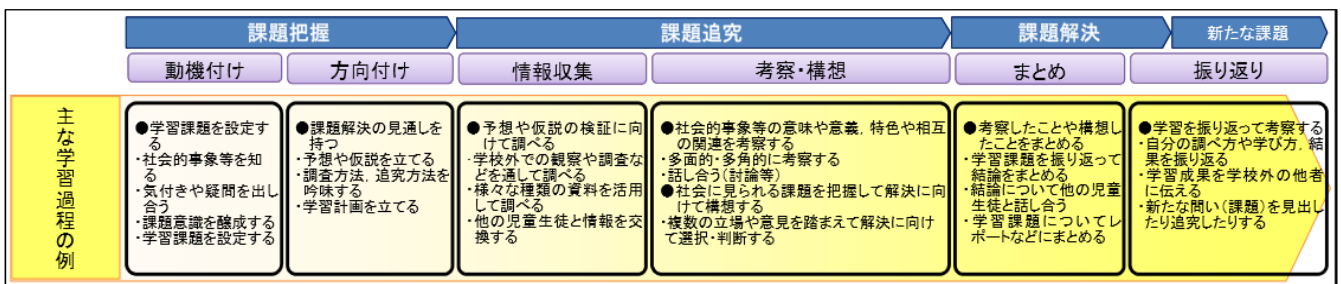
(紙面の都合により、小学校第5学年のみ提示)

➡ 解説 小学校社会編 p.13~16、 p.150~151 中学校社会編 p.16~22、 p.184~185

主体的・対話的で深い学び ～どのように学ぶか～

「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、児童生徒が学習課題を把握しその解決への見通しをもつことや、「社会的な見方・考え方」(5・6ページ参照)を用いた考察、構想や、説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追究したり解決したりする活動が不可欠です。

《学習過程のイメージ》



(「中央教育審議会答申 別添資料」から一部抜粋)

➡ 解説 小学校社会編 p.18~19 中学校社会編 p.14~22